

広運協

「第12回ドライバー安全運転研修会」を坂戸で開催

研修受講者は2009年4月以降、累計約200人に

広域運送事業協同組合(広運協、樋口恵一理事長)は17日、「第12回ドライバー安全運転研修会」を川崎陸送の坂戸流通センター(埼玉県坂戸市)で開催した。今回は省燃費運転の実技がメインで、アルファード運輸、アスカロード、京運商事、東京ロジネット、山梨総合運輸、川崎陸送から14人のドライバーが参加した。

坂戸流通センター周辺の公道をコース(3・2キロメートル)に設定し、三菱ふそうトラック・バスが研修用の試乗車3両を提供。1回目の実車走行ではいつも通りに走行し、省燃費運転の座学を受けた後、そこ



14人のドライバーが参加



待ち時間に日常点検の研修も

なお、広運協のドライバー安全運転研修会は2009年4月からスタートし、今回の12回目です。累計受講者数が約200人となりました。

で学んだことを実践し、2回目の実車走行を行った。

通常、2回目の走行では燃費が良くなるが、今回は公道を使用したことから、信号等の関係で2回目に燃費が向上しないケースもみられた。また、燃費改善によるメリットを軽油価格が1リットルあたり100円と換算して数値化し、10万円以上の走行した場合に9万1000円の経済的効果があると試算されたドライバーもいた。

実技の待ち時間を活用し、安全に関するビデオ研修や実車を用いた日常点検も実施。三菱ふそうトラック・バスの講師からは、省燃費運転の目的が環境への配慮とコスト削減で、省燃

費運転が安全対策につながり、一人ひとりの省燃費運転の積み重ねが会社としての経済的メリットになるとの説明があった。